

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 7 年度第 2 回</p> <p style="text-align: center;">富士見市介護保険事業推進委員会 議事録</p>						
日 時	令和 7 年 9 月 2 5 日 (木)		開会	午後 1 時 3 0 分		
			閉会	午後 3 時 0 0 分		
場 所	市民総合体育館 3 階 多目的室 1・2					
出席者	委 員	日鼻委員	鳥羽委員	任委員	鈴木委員	武長委員
		○	○	○	○	○
		田中委員	森委員	松本委員	古内委員	市川委員
		欠席	○	○	○	○
		橋本委員	伊垣委員	佐々木委員		
		○	○	○		
	関係者	高齢者あんしん相談センターむさしの管理者 高野 高齢者あんしん相談センターふじみ苑管理者 須賀 高齢者あんしん相談センターえぶりわん鶴瀬 Nisi 管理者 三浦 高齢者あんしん相談センターみずほ苑管理者 吉田 高齢者あんしん相談センターひだまりの庭むさしの管理者 土川				
事務局	高齢者福祉課 島田課長、長谷部副課長、荒野副課長 秋元主査、味戸介護保険係長、森口主任 大貫主任、早川主事 健康増進センター 山崎所長、平副所長					
公開・非公開	公開 (傍聴者なし)					
内 容	《委嘱状交付式》 1 委嘱状の交付 2 あいさつ 《令和 7 年度第 2 回介護保険事業推進委員会》 1 開 会 2 自己紹介など (1) 委員自己紹介 (2) 高齢者福祉課職員自己紹介 (3) 高齢者あんしん相談センター職員紹介 3 議 事 (1) 令和 6 年度各高齢者あんしん相談センター活動実績報告 (2) 令和 6 年度各高齢者あんしん相談センター決算報告 (3) 第 1 0 期計画策定に向けた高齢者等実態調査等の実施について					

- (4) 地域密着型サービス等 指導・監査実施方針
- (5) 市内介護事業所、施設の状況
- (6) 第9期高齢者保健福祉計画の進捗状況
- (7) その他

4 閉 会

議 事 内 容

【介護保険事業推進委員会委嘱交付式】

- 1 委嘱交付式
 - (1) 新委員委嘱
高齢者福祉課長から委嘱状を交付
- 2 あいさつ
高齢者福祉課長よりあいさつ

【第2回介護保険事業推進委員会】

- 1 開会
事務局より出席委員の数が定足数を満たしていることの確認後開会を宣言
- 2 自己紹介など
 - (1) 委員紹介
各委員より挨拶と自己紹介
 - (2) 高齢者福祉課職員及び健康増進センター職員の自己紹介
事務局となる高齢者福祉課職員及び健康増進センター職員の自己紹介
 - (3) 高齢者あんしん相談センター職員紹介
各高齢者あんしん相談センターの管理者の自己紹介

3 議事

- (1) 令和6年度各高齢者あんしん相談センター活動実績報告
 - (2) 令和6年度各高齢者あんしん相談センター決算報告
- ・各高齢者あんしん相談センター管理者から資料に沿って説明。
- <質疑等>
- ・委員 電話相談が、えぶりわん鶴瀬 Nisi が昨年と比較し約 500 件の増加、ひだまりの庭むさしのも約 300 件増加しているがその理由は何ですか？
 - ・包括 ご本人からの相談は減少していますが、ご家族からの相談が多くなっているという状況です。
 - ・包括 精査していません。
 - ・委員 ふじみ苑の見守りネットワークの普及活動で訪問活動件数が 40 件と他の包括と比較し多い理由は何ですか？
 - ・包括 今まで活動を行ったところや、承諾を得ているところについて再訪問があったものです。
 - ・委員 権利擁護の虐待件数について、むさしので虐待延べ件数が 41 件で昨年の倍、一方でみずほ苑も比較的多くて 27 件相談件数があった。これは実人数が少なく、その方の延べ人数が多かったのか。それとも逆に実人数が多くて、延べ人数が少なかったのか教えてください。
 - ・包括 41 件の内訳ですが、実人数としては 8 件となります。傾向としては 1 回で解決にならない事例が近年多くなっています。
 - ・包括 実人数としては 16 件でした。内容的には警察からの虐待案件という連絡が増えています。警察も 65 歳以上の方が絡む、親子げんかなども虐待案件とする傾向です。

- ・委員 むさしではバイク 1 台、耐用年数 3 年で固定資産購入、ひだまりの庭むさしではエアコン給湯器 6 年で購入とのことですが、資金収支ベースで確かに当期マイナスだが、事業活動計算書の決算時の帳票だと、プラスになると推測するがどうでしょうか？
- ・包括 手元に資料がないので即答できません。
- ・委員 えぶりわん鶴瀬 Nisi では 190 万円で車両を購入しているが、耐用年数 6 年で事業活動計算書ではプラスでしょうか？
- ・包括 事業活動計算書ではプラスになっています。
- ・委員 予算ベースであれば資金収支計算書でもよいのですが、決算ベースなので、社会福祉法人の場合、拠点区分ごとの事業活動計算書や貸借対照表も重要な財務書類です。事業活動計算書や貸借対照表も用いて審議したらどうでしょうか。

(3) 第 10 期計画策定に向けた高齢者など実施調査の実施について

- ・事務局より資料に沿って説明
- <質疑等>
- ・委員 圏域の広さの見直しを行う予定はありますか。
 - ・事務局 圏域の設定が概ね中学校区を参考に、各圏域の高齢者数が 3,000 人から 6,000 人になるように設定するという決まりがありまして、今のところ各圏域その範囲内に収まっていますので、見直す予定はないと思っています。
 - ・委員 第 1 圏域と第 3 圏域だと広さが違うため、見直し時期があるのでしたら教えていただきたいと思いました。
 - ・事務局 確かに第 1 圏域は、面積としてはとても広がっています。町会でいいますと南畑第 1 町会から第 5 町会となっておりますので、社会福祉協議会の地区社協も南畑地区社協としておりますので、第 1 圏域を分割するといった考えは今のところはありません。
 - ・委員 勝瀬中学校地域の分割の考えはありますか。
 - ・事務局 勝瀬の住民の方々は、包括職員と古くから慣れ親しんでおりますので、担当を変更するというのはなかなか難しいのかなと考えています。
 - ・委員 ニーズ調査について、第 9 期から削除したいと考えている市独自の設問で、例えばヤングケアラーや補聴器の利用状況の一部をなぜ削除したのか教えてください。
 - ・事務局 補聴器に関わる事業の策定がほぼ見込まれることから、削除をしたものです。
 - ・委員 見込まれるというのは、補聴器を使う方へ市が独自の補助をするということですか。
 - ・事務局 今年度補聴器補助事業の提案をし、了承される見込みがありましたので削除をしました。
 - ・委員 ヤングケアラーについてはどのように考えていますか。
 - ・事務局 子ども未来応援センターの実施している調査において同様のアンケート項目があるため、協議をしたところ本調査においては削除しました。
 - ・委員 生活圏域ごとの特徴の分析も今後にご利用できると考えられますが、回答者がどの圏域の方かわかるように工夫したのでしょうか？

- ・事務局 今回は接続式ということで、あらかじめ回答者がどのように回答したのかを、内部データとリンクができるような仕様にしていきますので、回答者がどこの圏域の方なのかわかるようになっています。
 - ・委員 在宅介護実態調査内容の中に主な介護者向けの項目が設けられていますが、調査対象の中に認定を受けている方と介護者も含まれるという意味でしょうか？
 - ・事務局 アンケートでは二つに大きくわかれていまして、介護を受けている方が回答する設問と主な介護者の方が回答する設問を設けております。
 - ・委員 調査対象の中に主に介護を行う家族の方も入れるべきだと思いますがいかがでしょうか？
 - ・事務局 含めるように修正します。
- (4) 地域密着型サービスなど指導監査実施方針について
- ・事務局より資料に沿って説明
- <質疑等>
- ・なし
- (5) 市内介護事業所施設の状況について
- ・事務局より資料に沿って説明
- <質疑等>
- ・なし
- (6) 第9期高齢者保健福祉計画の進捗状況について
- ・事務局より資料に沿って説明
- <質疑等>
- ・委員 介護のお仕事入門研修の実績で20名の募集で修了者が8名。これは8名の方が受けられて8名修了ですか。
 - ・事務局 受講生は10名いまして、そのうち8名の方が4日間研修を受けて修了したということになっております。
 - ・委員 応募人数が少なかった理由は何でしょうか？周知方法によっては、学生が参加する人数が増えたと思われるがどのような周知したのでしょうか？
 - ・事務局 チラシを各出張所等の市内公共施設に配架しました。また、学生の方をターゲットに富士見高校へ説明に伺いました。その他子育てをされている方への周知として市内の全小学校の全児童にチラシの配布を行い、児童から保護者の方へ伝わるように周知しました。
 - ・委員 結果として10名しか集まらなかったということでしょうか？
 - ・事務局 今回の修了生に、どういった媒体で入門研修を知ったかというアンケートをとったのですが、小学校からチラシで知った方がいなかった。そういったことが原因の一つと思います。
- (6) 認知症初期集中支援チームの活動状況について
- ・事務局より資料に沿って説明
- <質疑等>
- ・委員 初期集中支援チームの活動ということですが、最初は家族からの相談が多いと思いますが、プライバシーに関することなどを含め最初の接触について伺います。

- ・事務局 ご相談は、窓口へ来られた際にご家族の困っていることや認知症を患ったご本人の抱える問題、医療に繋がっているかなどヒアリングを行っています。ご本人に知られたくない状況でしたら、ご家族と面談を繰り返す中で、例えば「市役所が地域を回っている中で訪問させていただきました」というようなアプローチで、ご本人と接触をして面談をし、介護サービスでの困りごとがあるのかなど、そのようなところから仲介をして、チームで情報を共有しながら対応しています。

(7) その他

<説明>

- ① 共生社会の実現を推進するための認知症基本法、認知症政策推進基本計画の概要について（チラシの配布）
- ② 富士見市の合同オレンジカフェのイベントについて（チラシの配布）
 - ・事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

- ・なし

7 閉会

副委員長より閉会の挨拶